

When Movie Stars Shine in “スクリーン” Magazine



Dustin Hoffman

Yani Begakis

映画雑誌

SCREEN

企画展 近代映画社の仕事

の流儀

2025.4.5(土) - 7.27(日)

企画展観覧料
一般:300円(210円) 小・中学生:150円(100円)
*()内は20名以上の団体料金

鎌倉市川喜多映画記念館

戦後まもない1946年5月、近代映画社はタイロン・パワーと原節子を両面表紙に迎えて映画雑誌「SCREEN」を創刊しました。創刊当時の日本は連合軍の占領下にあり、限られた作品が公開される中で、同誌はスターのポートフォリオを中心とした構成で外国映画を紹介し、やがて外国映画の配給を一手に引き受けていたセントラル映画社が解体され、外国映画の公開数が増えると、ジェームズ・ディーンやオードリー・ヘプバーン、アラン・ドロンなど次々と現れた新星を日本の外国映画ファンに紹介しました。

さらに「SCREEN」では、1959年より現地での取材に力を入れてきました。のちに近代映画社の社長となった小杉修造氏は、海外渡航が困難な時代に初代ハリウッド通信員として自らアメリカに赴き、映画人の声を届けました。小杉氏に続き「名物通信員」として長年愛されたヤニ・ベガキス氏、そして現在の成田陽子氏へと近代映画社のジャーナリズム精神は受け継がれていきます。

本展では映画雑誌「SCREEN」を取り上げながら、戦後の日本の映画界とともに歩み、多くの革新的な試みで映画ファンの心を掴んできた近代映画社の仕事を振り返ります。



マイ・フェア・レディ

4.17(木)、4.18(金)、4.19(土)、
4.20(日) 13:30

1964年/アメリカ/カラー/173分/DCP
監督：ジョージ・キューカー 原作：ジョージ・バーナード・ショウ 出演：オードリー・ヘプバーン、レックス・ハリソン、スタンリー・ホロウェイ、ウィルフリッド・ハイド

ロンドンの下町で花売りをしていたイライザは、ヒギンズ教授のもとで礼儀作法のレッスンを受けて一流のレディへと変身する。映画雑誌「SCREEN」で最も表紙を飾ったオードリー・ヘプバーン主演のミュージカル映画。優雅に衣裳を身にまとうヘプバーンは、可憐で眩しい。



地上より永遠に

5.24(土) 10:30
5.21(水)、23(金)、25(日) 14:00

1953年/アメリカ/白黒/118分/DCP
原作：ジェームズ・ジョーンズ 監督：フレッド・ジンネマン 出演：モンゴメリー・クリフト、バート・ランカスター、フランク・シナトラ、デボラ・カー、ドナ・リード

太平洋戦争期のハワイを舞台に、腐敗した軍組織や男女の恋愛模様を描く。戦後まもない映画界で“ハリウッドの反逆児”と呼ばれたモンゴメリー・クリフトを筆頭に、豪華キャストが集結。バート・ランカスターとデボラ・カーの波打ち際のシーンは息を呑むほど美しい。



レナードの朝

6.24(火)、29(日) 10:30
6.26(木)、27(金) 14:00

1990年/アメリカ/カラー/121分/DCP
原作：オリバー・サクス 監督：ベニー・マーシャル 出演：ロバート・デ・ニーロ、ロビン・ウィリアムズ、ジョン・ハード、ジュリー・カプナー、ベネローブ・アン・ミラー

30年近く半昏睡状態にあったレナードは、誠実な医者・セイヤーの尽力が実り、ある朝に目覚める。スクリーンで様々な“顔”を見せてきたロバート・デ・ニーロが、本作では失われた30年を取り戻そうとするレナードを通して、生きていることの素晴らしさを伝える。

展示協力：株式会社 近代映画社、
国立映画アーカイブ（敬称略）
デザイン：相馬敬徳（Rafters）
表紙写真：ハリウッド通信員ヤニ・ベガキスのインタビューに応じるダスティン・ホフマン（株式会社 近代映画社所蔵）



許されざる者

7.13(日) 10:30
7.12(土) [特別上映] 13:30
7.8(火)、10(木) 14:00

1992年/アメリカ/カラー/131分/DCP
監督・出演：クリント・イーストウッド 出演：ジーン・ハックマン、モーガン・フリーマン、リチャード・ハリス、ジェームズ・ウールヴェット

かつては悪名高かった農夫が、子供たちとの生活のために再び銃を握る。西部劇のジャンルでスターの座に駆け上がったクリント・イーストウッドが主演・監督し、ともに西部劇の時代を築いたセルジオ・レオーネとドン・シーゲル両監督に捧げた一作。



パピヨン

7.12(土) 10:00
7.9(水)、11(金)、13(日) 14:00

1973年/フランス=アメリカ/カラー/151分/DCP 原作：アンリ・シャリエール 監督：フランクリン・J・シャフナー 出演：スティーヴ・マックイーン、ダスティン・ホフマン、ロバート・デマン、ウッドロー・パーフリー

無実の罪で南米フランス領のギアナにある監獄へ送られた“パピヨン”は、天才偽造職人のドガとともに自由を手に入れるべく危険で無謀な脱獄を図る。タフでアウトローな魅力を持つマックイーンと、控えめながらも存在感が光るホフマンの2大スター共演作。

映画雑誌 SCREEN 2025.4.5(土) - 7.27(日)

近代映画社の仕事 の流儀

企画展

初代ハリウッド通信員・小杉修造氏による特派員便り（「スクリーン」1959年10月号）



スクリーン・ヒット・ミュージック・シート19（「スクリーン」1957年1月号付録）



「スクリーン」1957年2月号（10周年記念特別号）

企画展観覧料

一般 300円(210円) 小・中学生 150円(100円)

*（ ）内は20名以上の団体

*鎌倉市民（市内に住所を有する方）は展示観覧料無料です。
入館時に住所が確認できる証明書をご提示ください。

映画鑑賞 一般 1300円 小・中学生 650円(展示観覧料含む)

特別上映 一般 1900円 小・中学生 950円(展示観覧料含む)



3

エデンの東



5.25 (日) 10:30

5.24 (土) [特別上映] 13:30

5.20 (火)、22 (木) 14:00

1955年/アメリカ/カラー/118分/DCP
原作:ジョン・スタインベック 監督:エリア・カザン 出演:ジェームズ・ディーン、レイモンド・マッセイ、リチャード・ダヴァロス

旧約聖書のカインとアベルの物語をベースに、家族関係に悩み、葛藤に苛まれる青年の姿を描く。若くしてこの世を去ったジェームズ・ディーンの初主演作。公開当時、孤獨な主人公キャラの姿は多くの若者の共感を呼び、演じたディーンは時代の寵児となった。



4

ロシュフォールの恋人たち

6.10 (火) 10:30

6.11 (水)、13 (金)、15 (日) 14:00

1967年/フランス/カラー/127分/DCP
監督:ジャック・ドゥミ 出演:カトリーヌ・ドヌーブ、フランソワーズ・ドルレアック、ジョージ・チャキリス、ジャック・ペラン、ジーン・ケリー

年に一度のお祭りで賑わうロシュフォールの街で、双子の姉妹がそれぞれ運命の恋に落ちる。実の姉妹であるドルレアックとドヌーブが共演し、ミュージカル映画で活躍する俳優陣が脇を固める。パステルカラーが基調となった街並みや衣裳も見どころの一つ。



5

クレイマー、クレイマー

6.15 (日) 10:30

6.10 (火)、12 (木)、14 (土) 14:00

1979年/アメリカ/カラー/105分/35mm
原作:エイベリー・コーマン 監督:ロバート・ベントン 出演:ダスティン・ホフマン、メル・ストリープ、ジャスティン・ヘンリー、ジェーン・アレクサンダー、ジョベス・ウィリアムズ

妻のジョアンナに家を出て行かれた仕事人間のテッドは息子のピリーとの新生活に悪戦苦闘するも、やがて二人の間に絆が生まれる。離婚裁判で対立する夫婦を演じたダスティン・ホフマンとメル・ストリープにとって、その後のキャリアを確立させる一作となった。



7

リバー・ランズ・スルー・イット

[4Kリマスター版]

6.25 (水)、27 (金) 10:30

6.24 (火)、28 (土) 14:00

1992年/アメリカ/カラー/124分/DCP
原作:ノーマン・マククリーン 監督:ロバート・レッドフォード 出演:ブラッド・ピット、クレイグ・シェイファー、トム・スケリット

厳格な牧師の父とその子供たちはフライ・フィッシングを通して固い絆で結ばれていたが、やがてそれぞれの運命を辿っていく。俳優としても活躍するロバート・レッドフォードの監督作で、当時は駆け出しであったブラッド・ピットが自由奔放で度胸のある弟を演じている。



8

フォレスト・ガンプ/一期一会

[4Kニューマスター版]

6.26 (木)、28 (土) 10:30

6.25 (水)、29 (日) 14:00

1994年/アメリカ/カラー/142分/DCP
監督:ロバート・ゼメキス 原作:ウィンストン・グルーム 出演:トム・ハンクス、サリー・フィールド、ロビン・ライト、ゲイリー・シニーズ

バスを待つフォレスト・ガンプは、幼い頃からの友人・ジェニーやベトナム戦線で共に戦った仲間たちとの出会いを懐古する。トム・ハンクスが演じる優しさと純真さを持ち合わせたフォレストは激動のアメリカ現代史を駆け抜け、観る人の心を揺り動かす。



11

小さな恋のメロディ



7.27 (日) 10:30

7.21 (月・祝)、24 (木)、26 (土) 14:00

1971年/イギリス/カラー/106分/DCP
監督:ワリス・フセイン 出演:マーク・レスター、トレイシー・ハイド、ジャック・ワイルド、シーラ・ステューフェル

パブリックスクールに通う少年ダニエルと少女メロディはお互いに惹かれ、やがて結婚を誓う。日本に熱狂的なファンを生み出した純愛映画。近代映画社では1972年に「スクリーン臨時増刊 小さな恋のメロディ 特集号」を発売するほどの人気作であった。



12

スタンド・バイ・ミー



7.21 (月・祝) 10:30

7.23 (水)、25 (金)、27 (日) 14:00

1986年/アメリカ/カラー/89分/DCP
原作:スティーヴン・キング 監督:ロブ・ライナー 出演:ウィル・ウィートン、リヴァー・フェニックス、コリー・フェルドマン、ジェリー・オコンネル、キーファー・サザーランド

文学好きで自分に自信が持てないゴードイは、友人のクリス、テディ、バーンとともに、行方不明になっている少年を探す旅に出る。同名主題歌とともに記憶される青春映画の金字塔。クリスを演じるリヴァー・フェニックスの、芯のあるまなざしが印象的。

特別上映

2025.5.24 (土) 13:30~

『エデンの東』+トークイベント

執筆者が振り返るSCREENの79年

渡辺祥子さん(映画評論家)

料金:一般1900円、小・中学生950円

チケット発売日:4月19日(土)

映画評論家の渡辺祥子さんをお招きし、映画雑誌「SCREEN」にゆかりのある作品や映画スターたちを紹介しながら同誌の歴史を振り返ります。また、渡辺さんとともに同誌を支えた菅見有弘さんなど歴代の執筆者たちとのエピソードを伺います。

特別上映

2025.7.12 (土) 13:30~

『許されざる者』+トークイベント

SCREENは映画をこう語る!

米崎明宏さん(映画ライター)

濱田尚孝さん(国立映画アーカイブ 客員研究員)

料金:一般1900円、小・中学生950円

チケット発売日:6月14日(土)

「SCREEN」6代目編集長を務められた米崎明宏さんと、2021年に国立映画アーカイブで開催された展覧会「創刊75周年記念 SCREENを飾ったハリウッド・スターたち」を担当された濱田尚孝さんにお越しいただき、映画雑誌「SCREEN」を通して楽しむ映画の魅力を紹介します。

チケット発売開始日

4月の上映作品(1):4.5(土)

5月の上映作品(2・3):4.19(土)

6月の上映作品(4~8):5.10(土)

7月の上映作品(9~12):6.14(土)

チケット販売場所

川喜多映画記念館窓口 0467-23-2500

*作品により映像・音声が必要しも良好でないものがあります。

場合によっては上映素材・作品の変更がありますことをご了承ください。

*当館では(4K)と表記されている場合でも(2K)上映となります。

Screening Schedule

4月 チケット発売日 4.5(土)	17(木)		13:30 マイフェアレディ(173分)+上映解説
	18(金)		13:30 マイフェアレディ(173分)
	19(土)		13:30 マイフェアレディ(173分)
	20(日)		13:30 マイフェアレディ(173分)
5月 チケット発売日 4.19(土)	20(火)		14:00 エデンの東(118分)
	21(水)		14:00 地上より永遠に(118分)
	22(木)		14:00 エデンの東(118分)
	23(金)		14:00 地上より永遠に(118分)
	24(土)	10:30 地上より永遠に(118分)	13:30 【特別上映】エデンの東(118分)+トークイベント
	25(日)	10:30 エデンの東(118分)	14:00 地上より永遠に(118分)
6月 チケット発売日 5.10(土)	10(火)	10:30 ロシュフォールの恋人たち(127分)	14:00 クレイマー、クレイマー(105分)
	11(水)		14:00 ロシュフォールの恋人たち(127分)
	12(木)		14:00 クレイマー、クレイマー(105分)
	13(金)		14:00 ロシュフォールの恋人たち(127分)
	14(土)		14:00 クレイマー、クレイマー(105分)
	15(日)	10:30 クレイマー、クレイマー(105分)	14:00 ロシュフォールの恋人たち(127分)
	24(火)	10:30 レナードの朝(121分)	14:00 リバー・ランズ・スルー・イット(124分)
	25(水)	10:30 リバー・ランズ・スルー・イット(124分)	14:00 フォレスト・ガンブ／一期一会(142分)
	26(木)	10:30 フォレスト・ガンブ／一期一会(142分)	14:00 レナードの朝(121分)
	27(金)	10:30 リバー・ランズ・スルー・イット(124分)	14:00 レナードの朝(121分)
7月 チケット発売日 6.14(土)	8(火)		14:00 許されざる者(131分)
	9(水)		14:00 パビヨン(151分)
	10(木)		14:00 許されざる者(131分)
	11(金)		14:00 パビヨン(151分)
	12(土)	10:00 パビヨン(151分)	13:30 【特別上映】許されざる者(131分)+トークイベント
	13(日)	10:30 許されざる者(131分)	14:00 パビヨン(151分)
	21(月・祝)	10:30 スタンド・バイ・ミー(89分)	14:00 小さな恋のメロディ(106分)
	22(火)	休館日	
	23(水)		14:00 スタンド・バイ・ミー(89分)
	24(木)		14:00 小さな恋のメロディ(106分)
25(金)		14:00 スタンド・バイ・ミー(89分)	
26(土)		14:00 小さな恋のメロディ(106分)	
27(日)	10:30 小さな恋のメロディ(106分)	14:00 スタンド・バイ・ミー(89分)	

ギャラリートーク／上映解説

展示の見どころ／上映作品について、学芸員が解説します。(要企画展観覧料)

*ギャラリートーク後に、旧和辻邸見学ツアー(希望者のみ)を行います。(約10分)

ギャラリートーク

6.28(土)：13:00～

上映解説

4.17(木) 午後の上映終了後(約40分)



旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)

当館敷地内に建つ旧和辻邸をご覧いただけます。(各日10:00～16:00)

一般公開(無料)：4月12日(土)、13日(日)

特別公開(要展示観覧料)：5月3日(土・祝)～6日(火・振)

*一般公開は土間までの入場となります。特別公開は靴を脱いで邸内をご覧いただけます。

*いずれの公開も天候等の事情により中止となる場合があります。



Kamakura City Kawakita Film Museum

鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

0467-23-2500

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館：月曜日(5月5日、7月21日は開館)、5月7日(水)、7月22日(火)

主催：川喜多・KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)

※駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

※席数、入館時間等は状況により変更する場合がございます。

詳しくはお問合せください。

<https://kamakura-kawakita.org>



紫陽花が咲く記念館を巡る 展示解説ツアー

紫陽花が咲く当館と鎌倉市鍋木清方記念美術館を巡る展示解説ツアーです。

普段は非公開の旧和辻邸も見学できます。(予約不要)

紫陽花の開花状況をみての開催となります。詳細は両館ホームページをご覧ください。

チラシ郵送サービス申込受付中

料金：1000円／6回

お申込日以降に発行される当館の企画展・上映チラシを6回分ご自宅に郵送

2025年度友の会 会員募集中

年会費：2500円

会員特典

*映画チケットの電話予約が可能

*1300円分の映画鑑賞引換券を2枚プレゼント

*展覧会観覧料がいつでも無料

*会員向けのイベントを実施

記念館窓口、郵便振替でお申込みを受け付けています。詳しくはお問合せください。